



# 令和5年12月期 決算短信(日本基準)(連結)

令和6年2月9日

上場会社名 オエノンホールディングス株式会社  
コード番号 2533 URL <https://www.oenon.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西永 裕司

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション室長 (氏名) 田中 直子

TEL 03-6757-4584

定時株主総会開催予定日 令和6年3月22日 配当支払開始予定日

令和6年3月25日

有価証券報告書提出予定日 令和6年3月22日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和5年12月期の連結業績(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年12月期	84,947	4.7	3,585		3,702		3,393	
4年12月期	81,120	3.2	707		645		1,257	

(注) 包括利益 5年12月期 3,910百万円 ( %) 4年12月期 1,653百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
5年12月期	58.30		17.3	6.7	4.2
4年12月期	21.22		6.7	1.2	0.9

(参考) 持分法投資損益 5年12月期 72百万円 4年12月期 百万円

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年12月期	55,431	22,227	38.6	367.30
4年12月期	55,511	19,604	32.0	305.21

(参考) 自己資本 5年12月期 21,380百万円 4年12月期 17,766百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
5年12月期	4,606	11	4,688	824
4年12月期	860	4,040	4,809	894

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
4年12月期				5.00	5.00	293		1.6
5年12月期				8.00	8.00	471	13.7	2.4
6年12月期(予想)				8.00	8.00		23.3	

## 3. 令和6年12月期の連結業績予想(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	0.1	3,000	16.3	3,000	19.0	2,000	41.1	34.36

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年12月期	65,586,196 株	4年12月期	65,586,196 株
期末自己株式数	5年12月期	7,375,760 株	4年12月期	7,375,353 株
期中平均株式数	5年12月期	58,210,591 株	4年12月期	59,244,678 株

(参考)個別業績の概要

令和5年12月期の個別業績(令和5年1月1日～令和5年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年12月期	2,741	19.4	1,598	59.2	1,543	61.4	1,427	86.2
4年12月期	2,296	7.9	1,003	18.7	956	20.0	766	8.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
5年12月期	24.53	
4年12月期	12.95	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
5年12月期	37,879	18,296	48.3	314.32
4年12月期	38,480	16,738	43.5	287.56

(参考) 自己資本 5年12月期 18,296百万円 4年12月期 16,738百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	15
(継続企業の前提に関する注記) .....	15
(会計方針の変更) .....	15
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	17
(重要な後発事象) .....	17

○決算参考資料

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、経済活動・社会活動の正常化が進み、緩やかな回復基調がみられました。一方で、長期化しているロシア・ウクライナ情勢に起因する原材料・エネルギー価格の高騰や、円安進行に伴う国内の物価上昇により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、グループの持続的な成長及び中長期的な企業価値の向上を図るべく、中長期戦略「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸とした諸施策を引き続き進めてまいりました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、84,947百万円（前期比4.7%増）となりました。利益面では、営業利益は3,585百万円（前期は707百万円の営業損失）、経常利益は3,702百万円（前期は645百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は3,393百万円（前期は1,257百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

なお、第2四半期連結会計期間に、加工用澱粉事業を展開しておりました株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡いたしました。これに伴い、第2四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、同社を連結の範囲から除外しております。そのため、加工用澱粉事業の業績は第1四半期連結累計期間までを連結の範囲に含めております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### 販売実績

セグメントの名称	アイテム	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日) (百万円)	前期比 (%)	
酒類	和酒部門	焼酎	35,902	99.5
		チューハイ	16,806	118.6
		清酒	3,709	104.6
		合成清酒	1,942	104.3
		販売用アルコール	14,216	126.2
		みりん	430	69.2
		73,007	108.1	
	洋酒部門	5,177	109.0	
	その他の部門	614	104.2	
		78,799	108.1	
加工用澱粉		1,341	31.3	
酵素医薬品		3,488	102.7	
不動産		1,230	267.5	
その他		87	107.6	
	合 計	84,947	104.7	

(注) 加工用澱粉事業は、第1四半期連結累計期間までの業績となっております。

#### 【酒類事業】

酒類事業につきましては、国内の人口減少や少子高齢化、飲酒機会の減少に加え、令和4年3月より数回にわたり実施された、全カテゴリーにおよぶ販売価格の改定（値上げ）により需要の縮小が一段と進み、競争が益々激化しております。一方で、行動制限の緩和により業務用市場では回復の兆しが表れております。また、物価上昇による節約志向の高まりから、家庭用市場につきましては、価格訴求したPBのRTD商品が引き続き好調に推移しており、さらにチューハイの素や、梅酒などが伸張しております。このようなニーズの変化に対応した販売活動を推進した結果、売上高は78,799百万円(前期比8.1%増)となりました。また、利益面につきましては、価格改定を推し進めたことにより、2,632百万円の営業利益(前期は961百万円の営業損失)となりました。

和酒部門のうち焼酎につきましては、甲類乙類混和焼酎の「すごむぎ」「すごいも」やしそ焼酎「鍛高譚」が好調に推移したものの、PB商品等の減少により、売上高は減少いたしました。同カテゴリーでは、ラクビーのリーチ マイケル選手を継続起用した甲類焼酎「ビッグマン」新CMの放映、しそ焼酎「鍛高譚」公式Instagramアカウント並びに同公式X(旧Twitter)アカウント、オエノングループ公式Xアカウントにおいて、企業間のコラボレーションによるプレゼントキャンペーンを実施するなど、さらなるファン層の獲得を目指した施策を実施して

おります。なお、令和4年度以降、当期までに、甲類焼酎で平均4%、乙類焼酎並びに甲乙混和焼酎で平均6%の価格改定を数回にわたり実施しております。

チューハイなどのRTD分野につきましては、日本各地の厳選素材を使用したチューハイ「NIPPON PREMIUM」シリーズやPB商品が好調に推移し、売上高は増加いたしました。なお、同カテゴリーにおいても令和4年度に2回にわたり平均9%の価格改定を実施しております。

清酒につきましては、市場の低迷が続いておりますが、業務用商品やPB商品等が好調に推移し、売上高は増加いたしました。なお、同カテゴリーは、令和4年度に平均7%の価格改定を実施しております。

販売用アルコールにつきましては、酒類原料用アルコールおよび工業用アルコールが好調に推移し、売上高は増加いたしました。同カテゴリーは、概ね四半期毎に各取引先と価格改定を行い、原料価格高騰分の価格転嫁を進めております。

洋酒部門につきましては、梅酒や炭酸水で割るだけで手軽に居酒屋の味わいを家で楽しむことができる、チューハイの素などが好調に推移したほか、ハイボールに最適なウイスキー「香薫(こうくん)」などが国内外で伸張したことにより、売上高は増加いたしました。また、「TAN TAKA TAN SHISO梅酒」が、食品・食材評価制度である「ジャパン・フード・セレクション」において、高い品質が評価され、グランプリを受賞しました。なお、同カテゴリーは、令和4年度以降、当期までに数回にわたり平均6%の価格改定を実施しております。

#### 【加工用澱粉事業】

加工用澱粉事業につきましては、第2四半期連結会計期間に、連結子会社でありました当該事業を展開する株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡いたしました。これに伴い、当社の株式会社サニーメイズに対する持分割合が減少した結果、第2四半期連結会計期間期首をみなし売却日として連結の範囲から除外し、持分法の適用範囲に含めております。なお、第1四半期連結累計期間までの売上高は1,341百万円(前期比68.7%減)、営業損失は6百万円(前期は344百万円の営業損失)であります。

#### 【酵素医薬品事業】

酵素医薬品事業につきましては、国内における発酵受託ビジネスや、酵素部門における海外での販売が好調に推移したため、売上高は3,488百万円(前期比2.7%増)となりました。しかしながら、利益面につきましては、人件費や修繕費の増加などにより、328百万円の営業利益(前期比11.5%減)となりました。

#### 【不動産事業】

不動産事業につきましては、銀座の旧本社ビル跡地に、三菱地所グループの三菱地所ホテルズ&リゾート株式会社が運営するホテル「ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座コリドー」が令和4年11月にオープンしたことや、第2四半期連結会計期間に販売用不動産の売却があったことなどにより、売上高は1,230百万円(前期比167.5%増)、営業利益は618百万円(前期比188.3%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の総資産につきましては、55,431百万円となり、投資有価証券が増加したものの、有形固定資産や未収入金が減少したため、前連結会計年度末と比較し79百万円の減少となりました。

負債につきましては、33,204百万円となり、未払消費税等が増加したものの、短期借入金が増加したため、前連結会計年度末と比較して2,702百万円の減少となりました。

純資産につきましては、22,227百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,623百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の残高は824百万円となり、前連結会計年度末と比較して70百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにおける資金の増加額は、4,606百万円(前期比5,467百万円増)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額1,259百万円、売上債権の増加額817百万円等がありましたものの、税金等調整前当期純利益3,604百万円、減価償却費1,851百万円等を計上したことによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローについては、固定資産の取得による支出871百万円等がありましたものの、関係会社貸付金の回収による収入950百万円等がありましたので、11百万円(前期比4,052百万円増)の資金増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローについては、短期借入金の減少額3,750百万円、長期借入金の返済による支出600百万円等がありましたので、4,688百万円(前期比9,498百万円減)の資金減少となりました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	令和3年12月期	令和4年12月期	令和5年12月期
自己資本比率 (%)	38.3	32.0	38.6
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.9	26.9	37.2
キャッシュ・フロー対有利子負債率 (年)	4.2	△13.9	1.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	26.2	△11.7	52.4

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。

※営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

酒類市場におきましては、人口減少や少子高齢化、若年層の飲酒離れ、健康志向の高まりにより、国内需要の縮小が続いており、企業間での販売競争が激化しております。

また、為替の円安基調や賃上げによる人件費上昇、物流の2024年問題による物流費上昇など、依然としてコスト上昇の要因が残り、値上げの終息が見えない一方で、“値上げ疲れ”による節約志向の高まりや、買い控えが顕著となり、消費が鈍化することが予想されます。

食品産業用酵素市場におきましては、国内外での研究開発競争や販売競争が益々激化することが予想されます。

このように、当社グループを取り巻く環境は、厳しい状況が続くものと見込まれます。一方で、総市場で唯一成長を続けているRTD市場におきましては、人流の回復に伴い料飲店市場への需要流出が懸念されましたが、無糖商品の伸張などにより成長を続けており、今後も堅調に推移することが予想されます。また、国産酒類の輸出におきましては、品質への国際的評価の高まりや世界的な「日本食ブーム」が追い風となり、堅調に成長を続けております。

さらには、世界的な健康志向の高まりを受け、機能性素材や食品産業用酵素の市場規模の拡大が見込まれております。

当社グループは、これらの市場のニーズの変化を成長に繋がるチャンスと捉え、当社グループの強みを活かした企業活動を進め、これらの変化に対応してまいります。

令和6年度は、「長期ビジョン100」で掲げた5本の柱を軸として、「重点事業における取組みの強化」「収益力の強化」「環境問題への対応」「経営基盤の強化」という4つの課題に取り組んでまいります。

#### 1. 重点事業における取組みの強化

##### (1) 焼酎事業への特化

市場優位性のある「博多の華」「すご」シリーズにつきましては、各カテゴリーにおいて絶対的なポジションの確立を目指してまいります。チューハイにつきましては、引き続き消費者の嗜好の多様化に対応した商品の開発・提案を進め、販売拡大に繋げてまいります。

##### (2) 販売用アルコールの利益確保

原料・エネルギーの調達コスト(建値、為替等)の変動に合わせた価格戦略を進め、利益確保に努めてまいります。

##### (3) 酒類輸出の強化

海外現地輸入業者および国内輸出事業者との取引強化、マーケットインの商品開発により、輸出拡大を進めてまいります。

##### (4) 酵素医薬品事業の収益拡大

中性ラクターゼの改良品(高精製品、高濃縮品)や酸性ラクターゼを市場に投入し、収益拡大を図ってまいります。製造工程の見直し等により、製造コスト低減の最大化を実現し、収益力を強化してまいります。

一貫製造、宗教対応、食品・食品添加物・飼料添加物対応ができるメーカーとして、発酵受託ビジネスで独自のポジションを構築し、事業拡大を目指してまいります。

## 2. 収益力の強化

### (1) 適正価格の維持

安定供給および適正な利益確保のため、適切なタイミングで販売価格の見直しを行い、必要に応じて価格改定を実施してまいります。また、不採算商品については、整理またはリニューアルによる収益性の改善を図ってまいります。

### (2) 消費の二極化への対応

物価上昇により消費者の節約志向が高まる一方で、消費者の本物志向に対応した高付加価値商品の需要も堅調に推移しております。これまで培ってきたグループ独自の技術・ノウハウを最大限に活かし、低価格商品・高付加価値商品を開発・上市し、拡売を図ってまいります。

### (3) コスト低減の徹底

調達から生産、販売に至る全てのコストの低減に徹底的に取り組み、収益性の改善に努めてまいります。

### (4) 不適合品発生の撲滅

不適合品の発生は、費用増大や取引先からの信用信頼の失墜に繋がると認識し、適正な生産管理体制を確立するとともに、従業員一人ひとりが、3H（初めて・変更・久しぶり）4M（人・設備・材料・方法）を意識し、危険予知を徹底し、不適合品発生の撲滅に努めてまいります。

## 3. 環境問題への対応

環境問題への対応は地球規模の課題であるとの認識の下、引き続き低炭素社会の実現に向けた取組みおよび循環型社会の形成に向けた取組みを進めてまいります。令和6年度は、グリーン電力への切替えの拡大、フロン排出抑制法対応等に取り組んでまいります。

## 4. 経営基盤の強化

グループの持続的成長と企業価値向上には、その原動力となる従業員の価値を高め、その価値を有効に活用できるシステムの整備が不可欠であると考えております。従業員が安心して働くことができ、多様な人材が活躍できる環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

また、コーポレートガバナンスの充実とコンプライアンスの徹底を図り、「納得性」「公正性」「透明性」の高い経営の実践に努めてまいります。

以上をふまえ、次期の見通しに関しましては、連結売上高85,000百万円（前期比0.1%増）、連結営業利益3,000百万円（前期比16.3%減）、連結経常利益3,000百万円（前期比19.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2,000百万円（前期比41.1%減）を予定しております。

	令和5年12月期	令和6年12月期 予想	増減額	増減率
売上高	百万円 84,947	百万円 85,000	百万円 53	0.1%
営業利益	3,585	3,000	△585	△16.3%
経常利益	3,702	3,000	△702	△19.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,393	2,000	△1,393	△41.1%
売上高経常利益率	4.4%	3.5%		
1株当たりの配当金	8円	8円	—	100.0%
ROE	17.3%	9.0%		

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主に対する利益還元を最重要政策の一つとして位置づけております。この政策の下、当社の業績、連結決算の状況、中長期的な収益状況、設備投資計画、適正な内部留保額、配当性向などを総合的に勘案しながら、継続的・安定的な配当を行い、かつ中期的には配当金を漸増させていくことを基本方針としております。

この方針に基づき、当期の配当金につきましては、1株当たり8円とさせていただくことを予定しております。

また、次期の配当金につきましても1株当たり8円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当連結会計年度 (令和5年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	899	828
受取手形及び売掛金	16,955	16,754
商品及び製品	6,329	6,862
仕掛品	230	235
原材料及び貯蔵品	2,026	1,264
前払費用	127	101
その他	487	53
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	27,038	26,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	30,122	29,623
減価償却累計額	△19,737	△19,794
建物及び構築物(純額)	10,385	9,828
機械装置及び運搬具	36,348	35,254
減価償却累計額	△30,975	△30,328
機械装置及び運搬具(純額)	5,372	4,926
工具、器具及び備品	1,626	1,620
減価償却累計額	△1,467	△1,437
工具、器具及び備品(純額)	159	182
土地	9,628	9,546
リース資産	151	150
減価償却累計額	△82	△81
リース資産(純額)	69	68
建設仮勘定	8	106
有形固定資産合計	25,623	24,660
無形固定資産		
のれん	5	3
ソフトウェア	141	423
その他	407	81
無形固定資産合計	554	508
投資その他の資産		
投資有価証券	1,545	3,104
長期前払費用	115	110
繰延税金資産	403	736
その他	235	234
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	2,294	4,181
固定資産合計	28,473	29,350
資産合計	55,511	55,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当連結会計年度 (令和5年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,035	4,981
電子記録債務	1,791	2,035
短期借入金	6,950	3,200
リース債務	30	31
未払金	4,608	4,693
未払費用	163	176
未払酒税	8,448	8,240
未払消費税等	547	1,289
未払法人税等	153	681
預り金	302	369
賞与引当金	62	59
役員賞与引当金	2	38
株主優待引当金	23	27
設備関係支払手形	43	125
設備関係電子記録債務	34	86
その他	280	254
流動負債合計	28,476	26,292
固定負債		
長期借入金	2,400	1,800
長期預り金	3,134	3,164
リース債務	44	44
繰延税金負債	128	153
役員株式給付引当金	111	145
退職給付に係る負債	1,497	1,502
資産除去債務	53	42
その他	59	58
固定負債合計	7,430	6,911
負債合計	35,906	33,204
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,946	6,946
資本剰余金	5,602	5,636
利益剰余金	6,873	9,973
自己株式	△1,927	△1,954
株主資本合計	17,494	20,601
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	454	958
繰延ヘッジ損益	△97	△83
退職給付に係る調整累計額	△84	△95
その他の包括利益累計額合計	272	779
非支配株主持分	1,837	846
純資産合計	19,604	22,227
負債純資産合計	55,511	55,431

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	81,120	84,947
売上原価	71,449	70,964
売上総利益	9,670	13,983
販売費及び一般管理費	10,378	10,397
営業利益又は営業損失(△)	△707	3,585
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	38	43
持分法による投資利益	—	72
受取賃貸料	66	61
為替差益	35	35
雑収入	46	41
営業外収益合計	186	254
営業外費用		
支払利息	79	91
操業休止等経費	25	25
売上債権売却損	11	11
雑損失	7	8
営業外費用合計	124	137
経常利益又は経常損失(△)	△645	3,702
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	14
特別利益合計	—	15
特別損失		
固定資産除売却損	34	38
減損損失	—	16
関係会社株式売却損	—	46
投資有価証券評価損	10	10
製品回収関連損失	86	—
その他	0	1
特別損失合計	131	113
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△777	3,604
法人税、住民税及び事業税	115	770
法人税等調整額	548	△563
法人税等合計	664	206
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,441	3,398
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△184	4
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,257	3,393

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,441	3,398
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	99	505
繰延ヘッジ損益	△155	21
退職給付に係る調整額	△156	△10
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△3
その他の包括利益合計	△212	512
包括利益	△1,653	3,910
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,464	3,900
非支配株主に係る包括利益	△188	9

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,946	5,601	8,563	△1,578	19,532
会計方針の変更による累積的影響額			△13		△13
会計方針の変更を反映した当期首残高	6,946	5,601	8,549	△1,578	19,519
当期変動額					
剰余金の配当			△419		△419
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,257		△1,257
自己株式の取得				△349	△349
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1			1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	△1,676	△349	△2,025
当期末残高	6,946	5,602	6,873	△1,927	17,494

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	354	53	71	480	2,032	22,045
会計方針の変更による累積的影響額						△13
会計方針の変更を反映した当期首残高	354	53	71	480	2,032	22,031
当期変動額						
剰余金の配当						△419
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△1,257
自己株式の取得						△349
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	99	△150	△156	△207	△194	△402
当期変動額合計	99	△150	△156	△207	△194	△2,427
当期末残高	454	△97	△84	272	1,837	19,604

当連結会計年度(自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,946	5,602	6,873	△1,927	17,494
当期変動額					
剰余金の配当			△293		△293
親会社株主に帰属する当期純利益			3,393		3,393
自己株式の取得				△88	△88
自己株式の処分		27		60	87
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		7			7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	34	3,099	△27	3,106
当期末残高	6,946	5,636	9,973	△1,954	20,601

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	454	△97	△84	272	1,837	19,604
当期変動額						
剰余金の配当						△293
親会社株主に帰属する当期純利益						3,393
自己株式の取得						△88
自己株式の処分						87
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						7
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	504	13	△10	507	△991	△483
当期変動額合計	504	13	△10	507	△991	2,623
当期末残高	958	△83	△95	779	846	22,227

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	△777	3,604
減価償却費	1,732	1,851
減損損失	—	16
のれん償却額	2	2
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6	△13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	9	34
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△14	35
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△18	4
受取利息及び受取配当金	△38	△43
支払利息	79	91
持分法による投資損益(△は益)	—	△72
固定資産売却益	—	△0
固定資産除売却損	34	38
投資有価証券評価損	10	10
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△14
関係会社株式売却損益(△は益)	—	46
製品回収関連損失	86	—
売上債権の増減額(△は増加)	△660	△817
棚卸資産の増減額(△は増加)	△720	△1,259
仕入債務の増減額(△は減少)	502	201
未払消費税等の増減額(△は減少)	△518	742
未払酒税の増減額(△は減少)	△277	△207
その他	△125	619
小計	△686	4,870
利息及び配当金の受取額	38	43
利息の支払額	△73	△87
事業再編による支払額	△90	—
製品回収関連損失の支払額	△86	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	37	△219
営業活動によるキャッシュ・フロー	△860	4,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4	△4
定期預金の払戻による収入	4	4
固定資産の取得による支出	△3,934	△871
固定資産の除却による支出	△13	△15
国庫補助金による収入	—	32
地方自治体からの補助金による収入	2	—
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	119
関係会社貸付けによる支出	—	△150
関係会社貸付金の回収による収入	—	950
その他	△87	△45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,040	11
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,400	△3,750
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△750	△600
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△46	△33
自己株式の取得による支出	△349	△87
自己株式の処分による収入	—	87
配当金の支払額	△438	△294
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△2	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,809	△4,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△91	△70
現金及び現金同等物の期首残高	986	894
現金及び現金同等物の期末残高	894	824



(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び評価をするために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは製品・サービス等を基礎としたセグメントから構成されており、「酒類」、「加工用澱粉」、「酵素医薬品」、「不動産」の4つを報告セグメントとしております。しかしながら、令和5年5月15日付で、加工用澱粉事業を展開していた株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡したことに伴い、同社を連結の範囲から除外し、持分法の適用範囲に含めております。このため、加工用澱粉事業においては、同社を連結の範囲から除外するまでの損益を含めております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントの主な製品・サービスは、次のとおりであります。

事業区分	主な製品・サービス
酒類	焼酎、チューハイ、清酒、合成清酒、梅酒、洋酒、加工用洋酒、酒類原料用・工業用アルコール、調味料
加工用澱粉	加工用澱粉
酵素医薬品	酵素、診断薬、発酵受託ビジネス
不動産	不動産の売買、不動産の賃貸

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	72,904	4,279	3,395	460	81,039	81	—	81,120
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	—	—	—	2	—	△2	—
計	72,907	4,279	3,395	460	81,042	81	△2	81,120
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△961	△344	370	214	△720	13	—	△707
セグメント資産	39,361	2,864	3,475	6,500	52,202	34	3,274	55,511
その他の項目								
減価償却費	1,226	53	242	93	1,616	0	115	1,732
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	511	12	67	2,880	3,472	—	51	3,524

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△2百万円は、セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額3,274百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社資産3,275百万円が含まれております。全社資産の主なものは、余資運用資金(現金及び預金)、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額115百万円は全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額51百万円は全社資産に係る増加額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	連結財務諸表 計上額 (注)3
	酒類	加工用 澱粉 (注)4	酵素 医薬品	不動産	合計			
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	78,799	1,341	3,488	1,230	84,860	87	—	84,947
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	14	—	—	—	14	—	△14	—
計	78,814	1,341	3,488	1,230	84,874	87	△14	84,947
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,632	△6	328	618	3,572	12	—	3,585
セグメント資産	40,687	—	3,722	6,256	50,666	39	4,725	55,431
その他の項目								
減価償却費	1,211	7	247	284	1,751	0	100	1,851
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,180	2	341	13	1,537	—	42	1,579

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業・荷役業等であります。

2 調整額の内容は、以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額△14百万円は、セグメント間の取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額4,725百万円には、セグメント間取引消去△0百万円及び全社資産4,725百万円が含まれております。全社資産の主なものは、余資運用資金(現金及び預金)、投資有価証券及び管理部門に係る資産等であります。

(3) 減価償却費の調整額100百万円は全社資産に係る減価償却費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額42百万円は全社資産に係る増加額であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 令和5年5月15日付で、加工用澱粉事業を展開していた株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡したことに伴い、同社を連結の範囲から除外し、持分法の適用範囲に含めております。このため、当該事業については、売上高、セグメント損失、減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額については、第1四半期連結累計期間の数値を記載しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)
1株当たり純資産額	305円21銭	367円30銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△21円22銭	58円30銭

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益の金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (令和4年12月31日)	当連結会計年度 (令和5年12月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(百万円)	19,604	22,227
普通株式に係る純資産額(百万円)	17,766	21,380
連結貸借対照表の純資産の部の合計額と1株当たり 純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会 計年度末の純資産額との差額の主な内訳 (百万円)		
非支配株主持分	1,837	846
普通株式の発行済株式数(千株)	65,586	65,586
普通株式の自己株式数(千株)	7,375	7,375
1株当たりの純資産の算定に用いられた普通株式の 数(千株)	58,210	58,210

- 3 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 令和4年1月1日 至 令和4年12月31日)	当連結会計年度 (自 令和5年1月1日 至 令和5年12月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△1,257	3,393
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△1,257	3,393
普通株式の期中平均株式数(千株)	59,244	58,210

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 令和5年12月期 決算参考資料

1. 要約連結損益計算書
2. 要約連結損益計算書（当四半期）
3. セグメント別売上高
4. 利益増減要因
5. 要約連結貸借対照表
6. 連結業績予想
7. 予想売上高

**オエノンホールディングス株式会社**

令和6年2月9日

# 1. 要約連結損益計算書

単位:百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年12月31日	自 令和5年 1月 1日 至 令和5年12月31日		
酒類事業	72,904	78,799	5,895	108.1
加工用澱粉事業	4,279	1,341	△ 2,938	31.3
酵素医薬品事業	3,395	3,488	93	102.7
不動産事業その他	541	1,318	776	243.5
売上高	81,120	84,947	3,826	104.7
売上原価	71,449	70,964	△ 485	99.3
売上総利益	9,670	13,983	4,312	144.6
販売費及び一般管理費	10,378	10,397	19	100.2
酒類事業	△ 961	2,632	3,594	-
加工用澱粉事業	△ 344	△ 6	338	-
酵素医薬品事業	370	328	△ 42	88.5
不動産事業その他	227	631	403	277.0
営業利益	△ 707	3,585	4,292	-
営業外収益	186	254	68	136.7
営業外費用	124	137	12	110.2
経常利益	△ 645	3,702	4,348	-
特別利益	-	15	15	-
特別損失	131	113	△ 17	86.3
税金等調整前当期純利益	△ 777	3,604	4,381	-
法人税等合計	664	206	△ 457	31.1
当期純利益	△ 1,441	3,398	4,839	-
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 184	4	188	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 1,257	3,393	4,650	-
1株当たり当期純利益(円)	△ 21.22	58.30	79.52	-
設備投資額	3,457	1,163	△ 2,294	33.6

※第2四半期連結会計期間に加工用澱粉事業を行う連結子会社株式会社サニーメイズの株式を一部譲渡いたしました。これに伴い同社が、第2四半期期首(令和5年4月1日)より持分法適用関連会社となったため、加工用澱粉事業については売上高、営業利益ともに第1四半期連結累計期間のままとなっております。(加工用澱粉事業数値 前年:令和4年1-12月、当年:令和5年1-3月)

## 2. 要約連結損益計算書(当四半期)

単位:百万円

	前連結会計期間	当連結会計期間	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和4年10月 1日 至 令和4年12月31日	自 令和5年10月 1日 至 令和5年12月31日		
酒類事業	21,014	21,778	763	103.6
加工用澱粉事業	1,208	-	△ 1,208	-
酵素医薬品事業	707	752	44	106.3
不動産事業その他	197	308	111	156.1
売上高	23,128	22,839	△ 289	98.7
売上原価	20,125	18,997	△ 1,127	94.4
売上総利益	3,003	3,841	837	127.9
販売費及び一般管理費	2,841	2,785	△ 55	98.0
酒類事業	179	953	774	532.6
加工用澱粉事業	△ 71	-	71	-
酵素医薬品事業	△ 11	△ 31	△ 20	-
不動産事業その他	65	133	67	203.9
営業利益	162	1,055	893	651.1
営業外収益	39	75	35	189.6
営業外費用	47	42	△ 4	89.7
経常利益	154	1,088	933	705.2
特別利益	-	0	0	-
特別損失	22	38	16	173.3
税金等調整前四半期純利益	132	1,050	918	795.1
法人税等合計	73	△ 297	△ 370	-
四半期純利益	58	1,348	1,289	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	△ 34	13	48	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	93	1,334	1,240	-

### 3. セグメント別売上高

単位：百万円

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和4年 1月 1日 至 令和4年12月31日	自 令和5年 1月 1日 至 令和5年12月31日		
焼 酎	36,100	35,902	△ 198	99.5
（ 甲 類 焼 酎 ）	(12,886)	(12,774)	(△ 112)	(99.1)
（ 乙 類 焼 酎 ）	(23,213)	(23,128)	(△ 85)	(99.6)
チ ュ ー ハ イ	14,169	16,806	2,636	118.6
清 酒	3,545	3,709	163	104.6
合 成 清 酒	1,862	1,942	79	104.3
販 売 用 ア ル コ ー ル	11,265	14,216	2,951	126.2
み り ん	621	430	△ 191	69.2
洋 酒	4,748	5,177	428	109.0
そ の 他	589	614	24	104.2
酒 類 計	72,904	78,799	5,895	108.1
加 工 用 澱 粉	4,279	1,341	△ 2,938	31.3
酵 素 医 薬 品	3,395	3,488	93	102.7
不 動 産	460	1,230	770	267.5
そ の 他	81	87	6	107.6
合 計	81,120	84,947	3,826	104.7

#### 4. 利益増減要因

単位：百万円

	利益増減(△)	主な増減要因
酒類事業	3,594	販売価格の改定および売上高増加による 総利益増+6,730 原材料コストの上昇による原価増△2,430 修繕費など製造経費の増△450 人件費など販管費の増△340 製品構成による影響等+84
加工用澱粉事業	338	前連結会計年度△344
酵素医薬品事業	△ 42	製造経費の増加等による減
不動産事業その他	403	銀座ホテル賃貸収益および 販売用不動産売却による増
営業利益	4,292	
営業外収益	68	持分法による投資利益の増
営業外費用	△ 12	支払利息の増
経常利益	4,348	
特別利益	15	投資有価証券売却益の増
特別損失	17	製品回収関連損失の減
税金等調整前当期純利益	4,381	
法人税等	457	一部繰延税金資産再計上のため税金費用減
当期純利益	4,839	
非支配株主に帰属する当期純利益	△ 188	
親会社株主に帰属する当期純利益	4,650	



## 5. 要約連結貸借対照表

単位:百万円

	前連結会計年度 令和4年12月31日	当連結会計年度 令和5年12月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(資産の部)					
現金及び預金	899	828	△ 70	92.2	
受取手形及び売掛金	16,955	16,754	△ 201	98.8	
棚卸資産	8,586	8,362	△ 223	97.4	
その他	615	155	△ 460	25.2	未収入金(未収消費税等)等の減
貸倒引当金	△ 18	△ 19	△ 0	-	
流動資産合計	27,038	26,081	△ 956	96.5	
建物	8,753	8,331	△ 422	95.2	
土地	9,628	9,546	△ 81	99.1	
その他	7,241	6,782	△ 459	93.7	
有形固定資産計	25,623	24,660	△ 963	96.2	
無形固定資産	554	508	△ 46	91.6	
投資有価証券	1,545	3,104	1,558	200.8	連結子会社1社の持分法適用関連会社への変更による増
長期前払費用	115	110	△ 4	96.0	
繰延税金資産	403	736	333	182.6	当期で一部再計上したことによる増
その他	235	234	△ 0	99.7	
貸倒引当金	△ 5	△ 5	-	-	
投資その他の資産計	2,294	4,181	1,886	182.2	
固定資産合計	28,473	29,350	877	103.1	
資産合計	55,511	55,431	△ 79	99.9	

単位：百万円

	前連結会計年度 令和4年12月31日	当連結会計年度 令和5年12月31日	増減(△)	前年対比 (%)	主な増減要因
(負債の部)					
支払手形及び買掛金	6,827	7,017	190	102.8	
短期借入金	6,950	3,200	△ 3,750	46.0	
未払金	4,608	4,693	85	101.8	
未払酒税	8,448	8,240	△ 207	97.5	
その他	1,643	3,141	1,498	191.2	未払法人税、未払消費税等の増
流動負債合計	28,476	26,292	△ 2,183	92.3	
長期借入金	2,400	1,800	△ 600	75.0	
その他	5,030	5,111	81	101.6	
固定負債合計	7,430	6,911	△ 518	93.0	
負債合計	35,906	33,204	△ 2,702	92.5	
(純資産の部)					
資本金	6,946	6,946	-	100.0	
資本剰余金	5,602	5,636	34	100.6	
利益剰余金	6,873	9,973	3,099	145.1	
自己株式	△ 1,927	△ 1,954	△ 27	-	
株主資本合計	17,494	20,601	3,106	117.8	
その他有価証券評価差額金	454	958	504	211.1	
繰延ヘッジ損益	△ 97	△ 83	13	-	
退職給付に係る調整累計額	△ 84	△ 95	△ 10	-	
その他の包括利益累計額合計	272	779	507	286.2	
非支配株主持分	1,837	846	△ 991	46.1	
純資産合計	19,604	22,227	2,623	113.4	
負債純資産合計	55,511	55,431	△ 79	99.9	

自己資本比率(%)	32.0	38.6	6.6		
-----------	------	------	-----	--	--

## 6. 連結業績予想

単位:百万円

	当連結会計年度 自 令和5年 1月 1日 至 令和5年12月31日	翌連結会計年度 自 令和6年 1月 1日 至 令和6年12月31日	増減(△)	前年対比(%)
酒類事業	78,799	80,098	1,299	101.6
加工用澱粉事業	1,341	-	△ 1,341	-
酵素医薬品事業	3,488	3,675	186	105.4
不動産事業その他	1,318	1,225	△ 92	93.0
売上高	84,947	85,000	52	100.1
売上原価	70,964	70,878	△ 85	99.9
売上総利益	13,983	14,121	137	101.0
販売費及び一般管理費	10,397	11,121	723	107.0
酒類事業	2,632	2,043	△ 589	77.6
加工用澱粉事業	△ 6	-	6	-
酵素医薬品事業	328	370	41	112.8
不動産事業その他	631	587	△ 44	93.0
営業利益	3,585	3,000	△ 585	83.7
営業外損益	117	-	△ 117	-
経常利益	3,702	3,000	△ 702	81.0
特別損益	△ 98	△ 119	△ 21	-
税金等調整前当期純利益	3,604	2,880	△ 724	79.9
法人税等合計	206	869	663	421.2
当期純利益	3,398	2,010	△ 1,387	59.2
非支配株主に帰属する当期純利益	4	10	6	232.0
親会社株主に帰属する当期純利益	3,393	2,000	△ 1,393	58.9

## 7. 予想売上高

単位:百万円

	当連結会計年度	翌連結会計年度	増減(△)	前年対比(%)
	自 令和 5年 1月 1日 至 令和 5年12月31日	自 令和 6年 1月 1日 至 令和 6年12月31日		
焼 酎	35,902	36,608	705	102.0
( 甲 類 焼 酎 )	(12,774)	(12,622)	(△ 151)	(98.8)
( 乙 類 焼 酎 )	(23,128)	(23,985)	(857)	(103.7)
チ ュ ー ハ イ	16,806	17,084	278	101.7
清 酒	3,709	4,020	310	108.4
合 成 清 酒	1,942	2,015	73	103.8
販 売 用 ア ル コ ー ル	14,216	13,760	△ 456	96.8
み り ん	430	454	24	105.7
洋 酒	5,177	5,469	292	105.6
そ の 他	614	684	70	111.4
酒 類 計	78,799	80,098	1,299	101.6
加 工 用 澱 粉	1,341	—	△ 1,341	—
酵 素 医 薬 品	3,488	3,675	186	105.4
不 動 産	1,230	1,135	△ 95	92.3
そ の 他	87	90	2	103.3
合 計	84,947	85,000	52	100.1